

堀り day はちのへ

—八戸市埋蔵文化財ニュース第7号—



縄文のヤス発見！

是川中居遺跡の低湿地部分、沢跡の捨て場から、木製のヤス軸3本、弓1本、掘り棒1本の計5本が束ねられた姿で見つかりました。

捨て場には、木の実の殻などが次々に大量に捨てられたため、モノが腐るよりも速く積み重なり、他の遺跡では見つからない様々な植物質の道具が見つかります。

ヤスは、魚とりのための道具で、このヤス軸に鹿の角などで作ったヤス先を付けて、素早く突き出し、刺すように使っていたと思われます。ヤス軸はすべてムラサキシキブという木を使っていて、長さや幅などもほとんど同じになるように作られています。

今回見つかった、束ねられた5本は縄文人の仕事道具のひとつとまりかもしれません。(小久保 拓也)



是川中居遺跡 - 平成 15 年度発掘調査成果 -

今年度は、前年度と同じ場所である遺跡南側の低湿地部分（H区）及び、縄文学習館東側の平地部分（L区）を中心に調査を行いました。

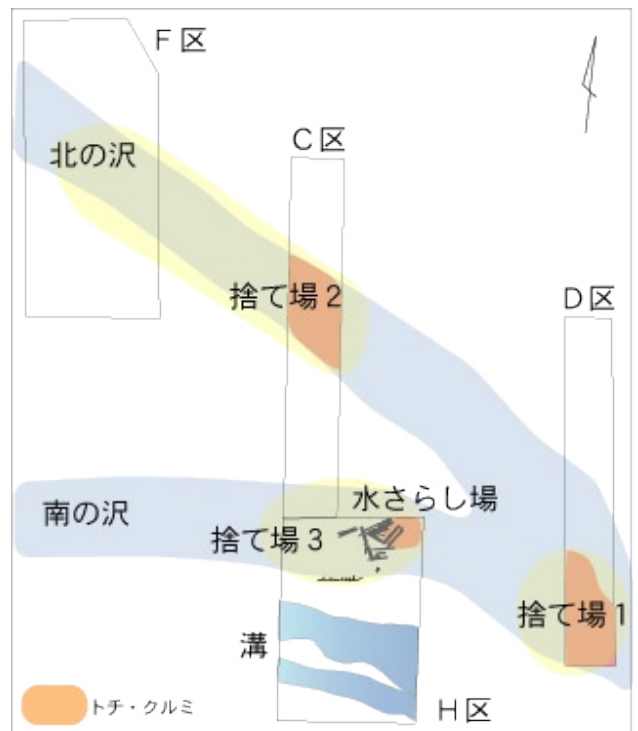
H区は、東西に流れる二本の沢の南側にあたり、前回の調査で約3,000年前（縄文時代晩期前葉）に様々な道具やゴミが投げ込まれた捨て場であることが判明しています。その中には、壊れた土器や石器のほかに、赤漆塗りの櫛・腕輪・弓・樹皮製容器などの木製品も腐らずに出土しています。

今年度は、去年に引き続き前回掘り下げることができなかった沢底までの調査を行いました。その結果、トチなどの植物質食料のアク抜き・加工の場所と考えられる「水さらし場遺構」が見つかり、漁労具の一つである「木製ヤスの軸柄」が弓や堀り棒と束ねられて出土しました。これらは、全国的に見ても非常に珍しく貴重な資料です。

その他、注目の遺物として、文様を彫りこんだ赤漆塗りの木製鉢や完全な形の斧の柄などが出土しました。



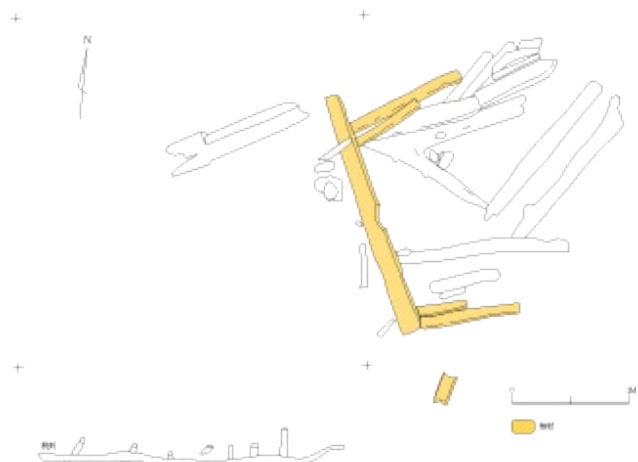
調査区位置図



遺跡南側の様子



ヤス復元図



水さらし場遺構

L区は、遺跡平地部分の内容確認調査です。調査の結果、約3,400年前（縄文時代後期後半）の竪穴住居跡が4棟、約3,200～2,600年前（縄文時代晩期中葉）の土坑墓14基、土坑44基などが見つかりました。住居の形態は、現在川中居遺跡敷地内に復元展示している竪穴住居とまったく同様のものです。土坑墓は円形のものもありますが、基本的には楕円形のものが多いようです。埋葬の方法は脚を折り曲げた屈葬状態で、頭の方角は西向きのもので多いようです。副葬品はほとんど入っていませんが、中からはベンガラで染まった人骨も検出しています。また、土坑（用途不明の穴）から完全な形の香炉形土器も出土しています。（村木 淳）



人骨出土状況



香炉形土器出土状況



まが 勾玉・土偶・土玉

是川縄文の里整備について

是川縄文の里整備検討委員会

今年度から、是川縄文の里整備事業を進めていくため、是川縄文の里整備検討委員会を設置しました。

6月30日、助役から委嘱状が交付され、早速、第1回の会議が行われました。検討委員会は、福島大学名誉教授、工藤雅樹先生を座長とする9人のメンバーから構成されています。

今年度は、計3回の会議を行い、是川遺跡の整備や活用の仕方について各委員から多くの意見が出されました。

そのなかでは、是川遺跡の漆文化をアジア的な視野の中でとらえること、出土状況の迫力を伝える展示、植物利用の幅広い検討などが、基本構想に追加されました。

新年度の検討委員会では、仮称是川縄文博物館の建設に向けた様々な検討を行う予定になっています。



委嘱状の交付



シンポジウム会場

是川縄文シンポジウム

11月30日に、東奥日報社との共催事業として是川縄文シンポジウムが開催されました。

薩摩焼14代宗家、沈壽官氏の記念講演、國學院大學教授小林達雄氏の基調講演の後、是川遺跡の植物質遺物をテーマとして4人の専門家による研究発表と全体討論が行われ、それぞれの研究成果が熱く語られました。

会場となった八戸市公民館ホールには、約500人のお客様が訪れ、熱心に聞き入っていました。

また、ロビーには是川遺跡の土器や木製品などの遺物と、写真パネルの展示コーナーも設けられ、本物の遺物のもつ生々しさや、遺跡の迫力を伝えることができ、好評でした。

シンポジウムは来年度も続けていく予定です。

(宇部 則保)



沈壽官氏による基調講演



全体討論の様子

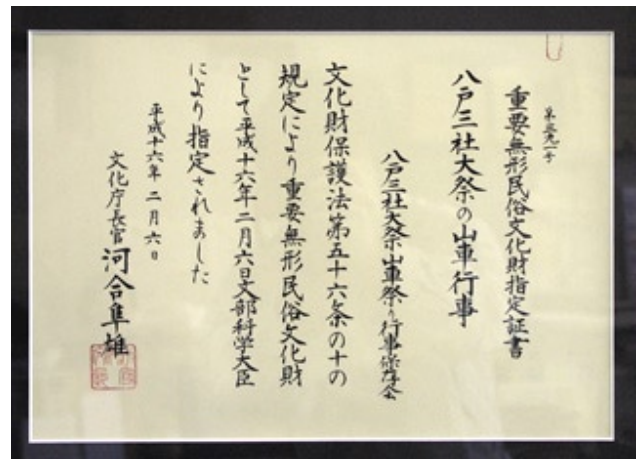
八戸三社大祭国重要無形民俗文化財に指定される！

「八戸三社大祭の山車行事」が、平成16年2月6日付けで新たに国の重要無形民俗文化財として、指定されました。八戸市教育委員会は、平成11年度から13年度までの3カ年にわたり、祭りの特徴や変遷などについて民俗文化財調査を実施し報告書をまとめました。

国は、この調査報告書をもとに文化審議会を経て八戸三社大祭が伝統ある貴重なお祭りであるということを確認し、今回の指定に至りました。

指定を受けたのは、山車や虎舞などそれぞれ個別のものではなく、お通りやお還りの行列のほか中日の長者山での騎馬打毬も含めた、まつり一連の行事です。

今後は、保護団体である「八戸三社大祭山車祭り行事保存会」をはじめとして市民全体で八戸三社大祭の貴重な伝統文化を保存・継承していきましょう。(小田 弘行)



指定証書



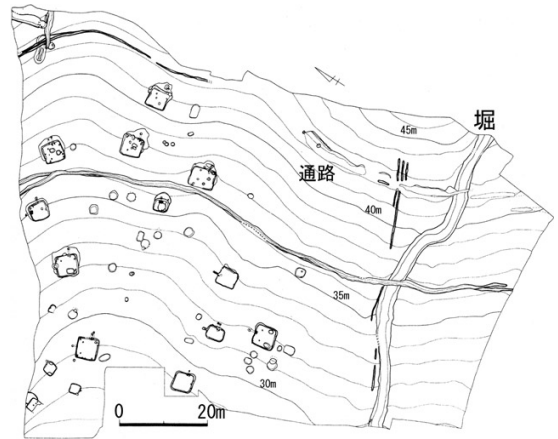
平成15年度のお祭りから

大仏館遺跡 - 堀のある集落 -

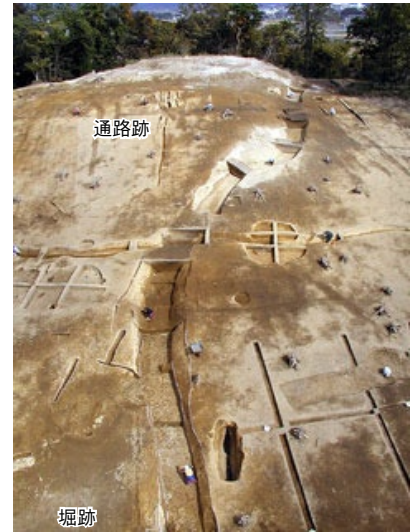
大仏館遺跡は、JR八戸駅から西に約1.5kmに位置します。丘陵西側の勾配11度ほどの斜面で、竪穴住居12棟と溝、堀、通路、土坑などが発見されました。その年代は、今から1,100年から1,050年ほど前と考えられます。竪穴住居のカマドは、東壁か北壁につくられています。カマドの作り替えが3回行われている住居が2棟あります。住居からフイゴ羽口・鉄滓などが出土しており、鍛冶に関連する遺構と思われます。

集落の南側に堀（大溝）が見つかりました。堀は、幅約3m深さ約1mで丘陵頂部から西側の沢に向かって伸びています。堀があることで、南側から容易に集落内に入ることができなくなってい

ます。そして堀の埋まった後に斜面に沿って通路と溝が作られています。大仏館遺跡は、八戸周辺の平安時代の社会状況を考える上で重要な遺跡です。（大野 亨）



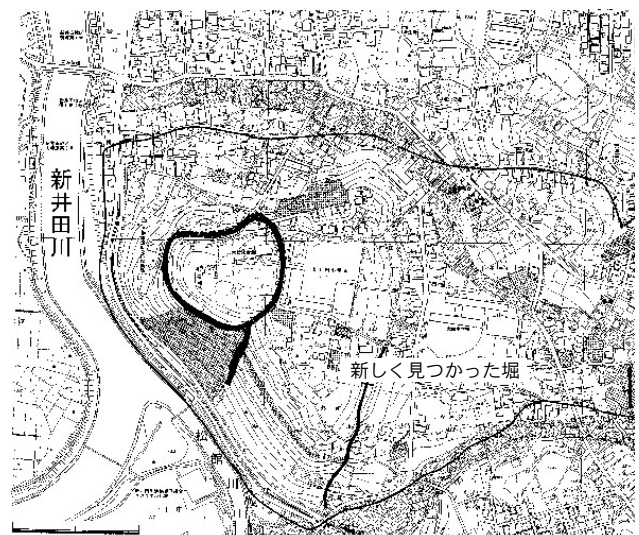
古代の遺構配置図



新田城跡

11月4日から14日まで行った、中世城館新田城跡の範囲確認試掘調査で、堀跡が発見されました。現在でも、本丸を囲む堀跡は一部が良好な状態で残っていますが、今回は、新井田小学校と大館中学校の間を南北にのびる旧道沿いで見つかりました。本丸を囲むものより一つ外側の堀跡と考えられます。おそらく、旧道が元の堀跡だと思われます。発見された堀跡は、幅がおよそ5.5m程度と推定されます。堀跡から7mほど東側に、堀に並行して、幅約1mの溝も確認されました。

新田城の郭配置^{くるわ}を具体的に考える手がかりとなりました。（渡 則子）



平成 15 年度八戸市遺跡報告会

平成 15 年 10 月 26 日(日)、八戸市総合福祉会館を会場に、午後 1 時 30 分から平成 15 年度八戸市遺跡調査報告会を開催しました。

この報告会は、八戸市民を対象に埋蔵文化財保護の理解を深めてもらうため、遺物展示を併設した市内の発掘調査成果を発表するものです。平成 14 年度に続き、2 回目の開催となりました。

会場には 75 名の八戸市内外の考古学・歴史ファンが参加しました。参加者は発表者に耳を傾け、スクリーンに写し出された映像に見入っていました。

今回は、浅田智晴さん(青森県埋蔵文化財調査センター)を発表者の一人として、ご参加いただきました。(小笠原 善範)

取上げた遺跡と発表者は次のとおりです。

- (1)是川中居遺跡(縄文・弥生)・・・村木 淳
- (2)田向冷水遺跡(弥生～古代)・・・小保内裕之
- (3)大仏館遺跡(古代)・・・・・・・・大野 亨
- (4)林ノ前遺跡(古代)・・・・・・・・浅田 智晴



文化課一年を振り返って

文化課に配属され、はや一年がたちました。私の担当は埋蔵文化財業務なので、一年間のおおまかな流れとして、主に 4 月は発掘調査の準備、5 月からは発掘調査、10 月からは発掘調査報告書の作成があります。また、埋蔵文化財以外の民俗等の有形無形文化財の業務に携わる機会も多く、例えば、三社大祭の調査や、天然記念物であるカモシカの捕獲に出動したりと、文化財と呼ばれるもの全般に対する業務を行うことができ、非常に中身の濃い一年だったと思います。

現在、私にとって非常に興味があり、また、文化課内で頻繁に議論されていることは、情報の発信に関することです。市役所は行政単位の中で最も市民に近いところにいる訳ですが、文化課をはじめとする行政の中で文化財の重要性を認識していてもどうしようもありません。いかにその重要性を市民の皆様に還元していくかが肝要であり、埋蔵文化財行政の意義を問いただされている時期

を迎えていると思います。このような時期に配属されたのは大変なことでもありますが、逆に言えば、自分の力で新しいものを作り出していける良い機会と考えています。

最後に、文化課は人間関係も良好で非常に仕事やりやすい環境にあり、課長を始め、課内の皆様には、やさしく、ときには厳しく指導していただき、とても感謝しています。あと、南部弁を早く覚えなくては・・・。

(埋蔵文化財班 杉山 陽亮・静岡県出身)





田向冷水遺跡（たむかいひやみず）



八戸市内南東部、田園風景が広がる田向地区に所在する田向冷水遺跡は、新井田川下流域の左岸、標高8～20mの河岸段丘上にあります。昭和61年の分布調査で発見され、平成12年に行った試掘調査の際には、古墳時代中期（5世紀後葉）の竪穴住居が1棟発見され、注目されました。

平成15年度は、新井田川を望む遺跡の東側中央部分、14,300㎡を調査しています。縄文時代の落とし穴や貯蔵用とみられる土坑、弥生・古墳・飛鳥～平安時代にかけての住居

と、調査の結果、縄文から古代にまたがる複合遺跡であることが判明しました。

なかでも、竪穴のコーナーが鋭く角張っていることが特徴の、5世紀後半の住居跡が8棟みつかったことは、大変重要なことです。青森県内初となる、古墳中期集落遺跡の調査例であるとともに、カマドを有する集落として、県内で最も古い段階に位置づけられます。

また、住居内からは土師器、須恵器、鉄製品、石製模造品などの古墳文化に由来する遺物と、続縄文土器、黒曜石の石器などの続縄文文化に由来する遺物が出土しています。このように、北と南の文物が、遺構の中で共伴してみつかったことも貴重な発見といえます。（小保内 裕之）



S I 42 出土 剣形石製模造品



S I 44 出土 有孔円盤



S I 35 出土遺物

平成 15 年度 八戸市内発掘調査

調査体制

	遺跡名	事業名	所在地	調査期間	調査面積 (㎡)
受託事業	田向遺跡	田向土地区画整理事業	田向字松ヶ崎	5月12日～6月10日	3,702
	田向冷水遺跡		田向字冷水	6月10日～10月31日	15,770
	館平遺跡 第14地点	集合住宅建築	新田字市子林 17-4	10月5日～10月31日	292
補助事業	市子林遺跡 第6次 (C地点)	長茅作付	新井田字市子林	4月21日～5月30日	4,675
	市子林遺跡 第7次	住宅建築	新井田字市子林	4月30日～5年2日	100
	新井田古館遺跡 第16地点	住宅建築	新井田字古館	5月12日～6月2日	200
	田面木遺跡 第13次	住宅建築	田面木字外久保	5月2日～5月9日	200
	根城跡岡前館 第47地点	住宅建築	根城八丁目 1-158	4月21日～4月28日	50
	館平遺跡 (新田城跡) 第15～20地点	内容把握	新井田字外館・古戸沢	11月4日～11月14日	96
	牛ヶ沢 (4) 遺跡	石灰岩採掘事業	松館字牛ヶ沢	4月21日～5月2日	320
	松ヶ崎遺跡 第6次	資材置場造成	十日市字松ヶ崎	4月21日～4月25日	66
	上ノ沢遺跡 第4次	社会福祉施設建築	是川字櫛館平 30-106	4月25日～5月2日	90
	緊急雇用	是川中居遺跡	範囲・内容確認	是川字中居	5月20日～9月29日
大仏館遺跡		農地整理	尻内町字大仏館	8月5日～10月30日	5,086

《調査指導員》

村越 潔 (青森大学教授)
市川 金丸 (青森県考古学会会長)
須藤 隆 (東北大学教授)
藤沼 邦彦 (弘前大学教授)
葛西 励 (青森短期大学助教授)

《調査事務局》

八戸市教育委員会
教育長 菊池 武
教育部長 島川 征泰
教育部次長 中野 牧男

主任主査 村木 淳
主任主査兼学芸員 大野 亨
主査兼学芸員 小保内 裕之
主査兼学芸員 渡 則子
主事兼学芸員 小久保 拓也
主事兼学芸員 杉山 陽亮

文化課

課長 栗野 壽男
参事兼課長補佐 工藤 竹久
《埋蔵文化財班》
主幹 坂川 進
主幹 小笠原 善範
主任主査 宇部 則保

班長 竹井 弘美
主任主査 貝吹 和子
主事 小田 弘行
主事 氣田 一彦
主事 根城 昌代



遺跡位置図

《平成 15 年度刊行》

八戸市埋蔵文化財調査報告書

- 第 99 集 館平遺跡 - 集合住宅建設工事に伴う発掘調査報告書 -
- 第 100 集 是川中居遺跡 2 - H 区発掘調査概要報告書 -
- 第 101 集 大久保 (3) 遺跡ほか - 新階上線鉄塔建設工事関係発掘調査報告書 -
- 第 102 集 八戸市内遺跡 18
- 第 103 集 是川中居遺跡 3
- 第 104 集 牛ヶ沢 (4) 遺跡Ⅲ 石灰石採掘表土堆積場設置工事に伴う
第 5～7 次発掘調査 - 平成 12～14 年度 -
- 第 105 集 田向遺跡 I - 田向土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書 1 -

八戸遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書

- 第 5 集 是川中居遺跡 - 中居地区 G・L・M -
- 第 6 集 大仏館遺跡 II

掘りday はちのへ 第7号

発行年月日 2004年3月31日
編集・発行 八戸市教育委員会文化課
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号
☎0178(43)9156 (文化課直通)
E-mail bunka@city.hachinohe.aomori.jp
http://www.city.hachinohe.aomori.jp/shiryo/iseki/index.htm (八戸市ホームページ)